

2009年6月19日

<プレスリリース>

「内外の化繊工業の動向（2009年第1四半期）」について

日本化学繊維協会

日本化学繊維協会は、この度「内外の化繊工業の動向（2009年第1四半期）」
をまとめました。以下はその概要です。

担当： 業務調査グループ （Tel: 03-3241-2313）

概 要 (2009年第1四半期)

2009年1-3月のわが国の景気は、個人消費の低迷、企業収益の悪化による設備投資の減少、雇用不安など悪化が続いている。この状況は当分続くと見られている。

化繊景況は、全体経済の縮小により、個人消費、企業の設備投資などの低迷により、衣料、家庭・インテリア、産業資材いずれの用途においても需要は後退しており、化繊生産は大幅に減少している。

国 内

1) 国内景気は、悪化しており厳しい状況にある。輸出の減少により生産は大きく減少、企業収益は悪化し、設備投資は減少している。また個人消費も低迷している。衣料用は、今期の衣料品売上げ高が百貨店は前年同期比14.5%減、チェーンストアは13.0%減と2桁の減少となっており、節約志向、買い控えにより中高級品を中心に厳しかった。インテリア用は、カーテン、カーペット関連で、マンションの発売戸数の減少(首都圏 前年比34.9%減、近畿圏 15.1%減)、新設住宅及び非居住用建築物の着工床面積が低調であったこと、またカーシートは乗用車生産の大幅な減少などの影響により苦戦した。資材用は、自動車関連ではシートベルト・エアバッグは自動車の減産により厳しかった。タイヤコードはこれまで市販用タイヤで維持してきたが、今期は市販用も減産したため厳しかった。また建築関連は、公共投資、民間投資ともに総じて低調であった。

2) 生産指数は、繊維工業、化繊、紡績いずれも前年比、前期比ともに減少している。繊維工業は前年比20.5%減、前期比11.7%減であった。うち化繊は前年比37.5%減、前期比25.4%減。紡績は前年比26.6%減、前期比19.9%減といずれも大きく減少している。在庫指数(期末)は、繊維工業前年比2.8%減、化繊5.3%減、紡績1.9%減といずれも減少している。(生産、在庫とも指数ベースの比較)

3) 繊維品輸出は、ドルベースで17.1億ドル、前年比21.5%減、円ベースで1,604億円・29.9%減とともに大きく減少した。形態別(ドルベース)では、繊維原料(前年比18.7%減)、糸類(34.8%減)、織物(16.9%減)、二次製品(12.1%減)であった。仕向地別(円ベース)では、全体の36%を占める中国が欧米向け再輸出の不振により591億円・25.7%減と大幅に減少したのを始め、米国(39.6%減)、欧州(22.5%減)、香港(24.5%減)、韓国(40.5%減)、アセアン(28.3%減)など主要市場向けは軒並み減少した。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 78.4 億ドル、前年比 4.4%増、円ベースでは 7,337 億円・7.0%減と減少した。形態別(ドルベース)では、繊維原料は 1.3 億ドル・31.4%減、糸類は 20.4 億ドル・31.6%減、織物は 2.3 億ドル・22.9%減、二次製品は 72.8 億ドル・8.1%増と増加した。仕出地別(円ベース)では、東南アジアが全体の 90%を占めている。ベトナムが 10.9%増の 280 億円に増加したが、最大の仕出国である中国は 3.0%減の 5,571 億円、イタリア 254 億円(34.3%減)、韓国 126 億円(16.7%減)、米国 114 億円(25.4%減)などは減少した。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	07.1-3	08.1-3	09.1-3	07年比(%)	08年比(%)
繊維品	1000ドル	1,993,292	2,180,448	1,711,487	-14.1	-21.5
輸出	百万円	237,649	228,798	160,397	-32.5	-29.9
繊維品	1000ドル	7,044,965	7,506,366	7,838,659	11.3	4.4
輸入	百万円	841,972	788,526	733,718	-12.9	-7.0
繊維原料	1000ドル	171,885	184,057	126,275	-26.5	-31.4
	百万円	20,519	19,329	11,766	-42.7	-39.1
その他	1000ドル	6,873,131	7,322,309	7,712,384	12.2	5.3
	百万円	821,459	769,197	721,952	-12.1	-6.1
二次製品	1000ドル	6,336,539	6,728,367	7,280,354	14.9	8.2
	百万円	757,312	706,649	681,719	-10.0	-3.5
輸出レート	円/ドル	119.2	104.9	93.7	-21.4	-10.7
輸入レート	円/ドル	119.5	105.0	93.6	-21.7	-10.9

(出所)財務省

5) 化繊生産は 18.9 万トン、前年比 33.8%、前期比 20.1%の減少となった。うちセルロース繊維は、4.0 万トン・前年比 7.7%減、前期比横ばいであった。合繊は、主力 4 品種が大きく減少し、14.9 万トン・前年比 38.7%減、前期比 24.4%減となった。期末在庫は、合繊は減少したもののセルロース繊維の増加により、11.3 万トン・前年比 3.5%増、前期比 9.6%減であった。

化繊輸出(繊維原料～二次製品)は 12.7 万トン・25.9%減とであった。レーヨン S が米国向けの増加により 24.2%の増(3,399 トン)となったが、ナイロン F 55.7%減、ポリエステル F 40.9%減、ポリエステル S 9.4%減、アクリル S は 40.0%減といずれも減少した。合繊織物(面積ベース)は、長繊維織物が 23.4%減、短繊維織物は 12.0%減とともに減少した。また化繊不織布(重量ベース)は長繊維は 33.6%増、一方短繊維は 52.4%減であった。

化繊輸入(繊維原料～二次製品)は 23.6 万トン・9.4%減となった。二次製品は 17.7 万トン・0.6%増、うち衣類は 8.9 万トン・3.4%増であったが、短繊維(0.9 万トン・21.5%減)、糸(3.0 万トン・27.5%減)、織物(1.7 万トン・19.1%減)といずれも減少した。

化学繊維の主要指標

項目	単位	07.1-3	08.1-3	09.1-3	07年比(%)	08年比(%)
化繊生産	千トン	301	285	189	-37.3	-33.8
セルロース	"	40	43	40	-0.8	-6.2
合 織	"	261	242	149	-43.0	-38.7
化繊在庫	"	106	110	113	6.5	3.5
セルロース	"	15	13	16	8.4	24.1
合 織	"	91	96	95	4.2	-1.2
化繊輸出	千トン	184	171	127	-31.0	-25.9
	100万ドル	1,189	1,307	1,049	-11.8	-19.7
	億円	1,418	1,371	984	-30.6	-28.3
化繊輸入	千トン	251	261	236	-5.8	-9.4
	100万ドル	2,352	2,704	2,830	20.3	4.7
	億円	2,812	2,843	2,645	-5.9	-7.0

(出所) 経済産業省、財務省

(注) 在庫は生産者在庫で各年末

6) 主要合織品種の動向は次の通り。

ポリエステルF：生産は 37,550 トン・前年比 41.4%減と 18 年続けて前年実績を下回った。織物生産は 1 億 391 万 m²・34.5%減であった。用途別では、衣料用は個人の購買意欲の減少、企業の従業員削減などにより、主力の婦人用をはじめ、裏地用、スポーツ用、ユニフォーム・ワーキング用など全ての分野で苦戦を強いられた。産資用では、主力の自動車向けは、タイヤコードは新車用だけでなく市販用タイヤ生産の減少により苦戦、新車向けのシートベルとカーシートなどは自動車の減産による影響を直接受けている。建築向けも「改正建築基準法」の影響が拭いきれないところに、景気後退により一段と厳しい状況にある。輸出ではフィラメントが 5,822 トン・前年比 40.9%減、強力系の減少が著しい。織物は 6,110 万 m²・20.6%減。フィラメント輸入は景気悪化により 13,673 トン・48.6%減とほぼ半減した。最大の台湾は、5,835 トン・55.3%減、韓国 2,230 トン・30.5%減をはじめ中国(1,662 トン)、タイ(1,568 トン)、インドネシア(1,485 トン)などいずれも大きく減少した。

ポリエステルS：生産は 29,211 トン、前年比 41%減。用途別では、紡績用は順調であった純系の中東向けトープが現地の景気後退と円高により失速、主力の綿混をはじめ、レーヨン混、ウール混いずれも低迷している。製綿用は布団の春の就職・進学需要を期待したが不発に終わるなど厳しい状況が続いている。不織布用は生活資材が健闘したが、車両資材、産業資材向けが苦戦した。輸出は 9,087 トン・前年比 9.4%減、ベトナム向けは昨年年間実績ゼロから 2,012 トンとなったが、タイ(前年比 35.1%減)、中国(12.6%減)、米国(13.4%減)は減少した。一方輸入は主力の韓国(18.6%減)、中国(14.3%減)の減少により、4,286 トン・15.3%減となった。

ナイロンF：生産は17,209ト、前年比39.9%減。織物生産は2,938万㎡・16.4%減であった。衣料用は、カラータイツ、レギンスが好調にシーズンを終了したことから、早めの仕掛けに入るなど明るい要因はあったが、主力のレギュラーパンストは不振、体型補正用インナー及び中国向けトリコット輸出の需要一巡など全般では厳しかった。非衣料用は、自動車関連では、タイヤコードはキャップフライ向け需要の減少、生産台数の減によりエアバック、ラインマット需要が減少した。タイルカーペットは新築物件が乏しい上に、景気悪化による張替え需要の後退により悪化した。フィラメント輸出は、2,729ト・55.7%減。主力の強力糸が1,788ト・56.5%減の減少によるところが大きい。輸入は、4,874ト・33.6%減。加工系（主にカーペット用）（2,501ト・31.5%減）、強力糸（357ト・64.2%減）の減少が著しかった。

アクリルS：生産は22,808ト、前年比48.0%減、また紡績糸生産は2,495ト・29.0%減。主力の中国向けステーブル輸出が13,357ト・38.4%減と引き続き低迷している。中国でのアクリル需要は上向きにあるが、日本品は欧米向け再輸出品がメインであるため、日本品の需要は欧米市場の景気回復次第であり現状は厳しいものがある。用途別では、衣料用はマイクロファイバー使いの保温肌着、婦人軽量肌着が先シーズン好調であったため早めの仕掛けに入った。靴下は低価格品が他素材へのシフトが進み先行き懸念される。建築寝装用では、毛布、カーペットともに苦戦している。中国以外のステーブル輸出は、インドネシア3,606ト・19.9%減、イラン674ト・87.4%減、アフリカ向けは3,469ト・25.0%減といずれも減少した。

海外

7) 韓国の繊維景況は、繊維品輸出が2割を超える大幅な減少となる一方、内需不振も続き、国内の衣料販売は年初から前年実績割れとなるなど厳しい状況が続いている。合繊生産は前年同期比10.7%減の31.0万トと5期連続の減産。ナイロンFは8.4%減の3.1万ト、ポリエステルはFは6.9%減の15.9万ト、Sは10.6%減の11.4万ト、アクリルSは60.5%減の6,000ト。合繊企業は、量産品から差別化路線を進めている。繊維品輸出は23.0%減の24.1億ドル。繊維原料は35.6%減の2.1億ドル、紡織品は21.4%減の18.8億ドル、衣類は22.8%減の3.2億ドルといずれも2割を超える大幅な減少となった。合繊織物輸出は、ウォン安にもかかわらず、中国に加え、中東、ベトナム向け不振により減少した。繊維品輸入は29.0%減の16.4億ドル。うち、二次製品輸入は26.2%減の7.9億ドル。6割を占める中国からが30%以上の大幅減となった。北朝鮮・開城工団事業は、5月の北朝鮮の核実験を契機に閉鎖の危機が迫っている。

8) 台湾の繊維景況は、生産、輸出の大幅減が続いている。総生産額は前年同期比 35% 減の 765.7 億台湾ドルであった。うち、化繊産業は 52% 減の 172 億台湾ドル、紡織産業は 28% 減の 529 億台湾ドル、衣類等二次製品生産額は 17% 減の 64 億台湾ドルといずれも大きく落ち込んだ。化繊生産は 24.2% 減の 43.1 万ト。国内の紡織段階の生産縮小やファイバー輸出の減少、原料価格の上昇などにより、ナイロン F は 25.1% 減の 6.4 万ト、ポリエステル F は 23.8% 減の 21.8 万ト、同 S は 13.6% 減の 11.5 万ト、アクリル S は、32.6% 減の 2.0 万トとなった。繊維品輸出は 25.5% 減の 19.8 億ドル。繊維原料は 41.1% 減の 1.7 億ドル、糸類は 33.6% 減の 3.5 億ドル、織物輸出は 21.9% 減の 12.0 億ドル。衣類は 15.4% 減の 1.9 億ドル。仕向地別では中国 (18.0% 減)、香港 (37.6% 減)、ベトナム (22.2% 減)、米国 (24.8% 減)。繊維品輸入は 26.6% 減の 5.0 億ドル。中国は 2.3% の微減に止まったが、日本、韓国、米国等からは大幅減となった。

9) 中国の繊維景況は、2008 年後半からの世界的な金融危機の影響によって調整局面が続いている。化繊生産は前年同期比 6.1% 増の 574.0 万ト、うちレーヨンは 2.0% 減の 34.2 万ト、合繊は 7.3% 増の 520.1 万ト。品種別では、ポリエステル (9.0% 増) は増加したが、ナイロン (4.0% 減)、アクリル (1.1% 減) は減少した。

繊維品輸出は 9.6% 減の 343.6 億ドル。アジア向け、EU 向け、米国向けいずれも減少した。政府は 2 月に一部繊維製品の増値税還付率を 14% から 15% に引上げた (4 月から 15% 16% に)。繊維品輸入は 24.7% 減の 44.2 億ドル。繊維原料 (44.1% 減)、紡織品 (16.0% 減)、二次製品 (16.0% 減) のいずれも大幅減となった。うち合繊はポリエステル F (34.2% 減)、S (3.8% 減)、ナイロン F (14.2% 減)、アクリル S (38.0% 減) いずれも減少。一方合繊原料は PTA 2.7% 増、EG 23.0% 増、CPL 6.5% 増と増加した。また PTA で 2 月に輸入の 3 分の 2 を占める韓国、タイ産について反ダンピング調査を開始した。

4 月 24 日、中国国務院は、2009 年度を初年度とする 3 カ年の中国繊維産業調整と振興計画を発表した。繊維産業を重要産業と位置づけ、海外市場の開拓強化、コア企業への支援強化と中小企業の発展を結びつける、自主イノベーションの開発、市場メカニズム導入などを通じて業界のアップグレードを目指すとしている。

10) 米国合繊工業の景況は、引き続き厳しい状況である。主力の国内市場は、紡織、産資、カーペットのいずれの用途も不調で、大幅な生産の減少が続いている。厳しい事業環境の中、合繊企業の身売り、事業売却、海外事業からの撤退など事業再編の動きが続いている。合繊生産は 58.8 万ト、前年同期比 26.8% 減。主要品種が軒並み減少し、すべてが前年同期比 2 桁減と過去に例をみない落ち込みである。ナイロン F は主力のカーペット用の不振が響き 35.3% 減の 10.8 万ト。ナイロン S 生産も同様に 31.0% 減の 2.7 万トと大幅減が続く。ポリエステル F は、カーペット用を始め、紡織

用、産資用の減少が続いていることから 22.4%減の 8.6 万ト。ポリエステルSは 30.0%減の 13.1 万ト。オレフィン、フィラメントはカーペット用の不調で 22.4%減の 8.6 万ト。ステープルはカーペット用、不織布用の減少で 16.2%減の 4.8 万トであった。

11) 欧州（西欧 + 中東欧 + トルコ）の化繊工業の景況は、域内需要の大幅な減少により不振色を強めている。設備の過剰問題が浮上し、一部工場で閉鎖の動きが生じている。1-4 月の合繊生産は市場の不振や産業活動の鈍化により、紡織用、産資用、カーペット用ともに低調であったため、ナイロンは前年比 39.1%減、ポリエステルFは 40.3%減、同Sは 30.2%減、アクリルSは 26.0%減であった。好調であったレーヨンSは、今期より生産量が発表されなくなったが、最大手企業の Lenzing の今期業績が悪化していることから苦戦したものと見られる。

域内の紡織・衣料工業の生産指数は、6 四半期続け前年比減少しており、その減少幅は拡大している。特に紡織工業の落ち込みが大きい。

J C F A

合繊4品種需要実績

・ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン)

		2009年1～3月 実績	対前期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	18,496	76.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	32,840	67.4
	計	51,336 (13,673)	70.4 (57.6)
輸出 (原糸、加工糸)		3,963	89.4
需要計		55,299	71.5
在庫		26,658	96.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

・ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン)

		2009年1～3月 実績	対前期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む。)	4,863	81.3
	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	24,479	71.1
	計	29,342 (4,286)	74.4 (55.8)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		9,195	145.0
需要計		38,537	84.1
在庫		23,621	80.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量

・ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン)

		2009年1～3月 実績	対前期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	8,041	80.3
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	12,427	76.1
	計	20,468 (4,874)	77.7 (87.0)
輸出 (原糸、加工糸)		2,649	78.6
需要計		23,117	77.8
在庫		16,046	96.4

(注)国内需要の()内数値は輸入量

・アクリルステーブル需要実績

(単位:トン)

		2009年1～3月 実績	対前期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	6,543	163.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,802	100.1
	計	9,345 (493)	137.2 (94.6)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		19,542	129.1
需要計		28,887	131.6
在庫		12,403	80.5

(注)国内需要の()内数値は輸入量